

ネクサバル（ソラフェニブ）錠について

1. 使用する薬剤と用法

ネクサバル錠は、「分子標的薬」と呼ばれるお薬です。がん細胞だけが持つ特徴が解明され、それを標的とすることで従来の抗がん剤にくらべ、正常な細胞よりがん細胞へ効果的に作用します。

ネクサバル錠 100mg

- **1回2錠を1日2回服用します。**

血液検査の結果や問診による自覚症状の有無を確認し、化学療法実施の決定を医師が行います。



2. 服用するときの注意点

- ① ご自身の判断で、用法用量を変更しないでください。
- ② ネクサバルを薬剤や健康食品と一緒に服用するとネクサバルの効果が減弱する場合があります。他の病院で処方されている薬剤や服用中の市販薬、健康食品（例：セイヨウオトギリソウを含むもの）などを服用している場合や新たに服用する場合は、医師、あるいは薬剤師にネクサバルを服用していることを伝え、一緒に服用してよいかどうか確認してください。
- ③ 飲み忘れた場合は、次の服用時間を待って1回分服用してください。**一度に2回分を服用しないでください。**
- ④ 高脂肪食を摂取した後にネクサバル錠を服用すると作用が弱くなる場合があります。**高脂肪食を摂取した場合は、食事の1時間前から食後2時間の間の服用は避けてください。**
高脂肪食：約900～1,000kcal（脂肪含有量50～60%）

脂肪分が多く、高エネルギーな食物のことです。一般的に家庭の食事より外食の方が高脂肪食であることが多いです。油脂類（揚げ物やバターなど）は注意が必要です。また、デザートは脂肪分が多いものがあるので、食後にとることで高脂肪食となることがあるので注意が必要です。

高脂肪食例）ハンバーグとオムライスのセットやハンバーグとオムライスのセットなど
デザートではケーキやアイスクリームなど



3. 予想される副作用

- 副作用は、治療内容や個人個人で症状の現れ方や程度が異なります。このため、副作用が出現した場合は、早期に対応できるようにすることが重要です。
- 副作用は、治療開始後すぐに起こる症状や、治療を繰り返すことで起こる症状があります。
- 副作用は「**自分でわかる症状**」と「**血液検査などでわかる症状**」があります。

副作用の特徴を理解し、体調に異常を感じた場合はすぐにお知らせください。

▼ 「自分でわかる症状」

副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
皮膚障害 1週間から2週間ぐらい	皮膚の変色や腫れ、水ぶくれなど。 おもに上半身（顔や頭皮を含む）に現れます。 日常生活に支障がないように症状をコントロールすることが大切です。日頃から保湿を心がけてください。 症状の程度によって、休薬やステロイドの外用剤を使用します。
脱毛 	頭髪のみでなく全身の体毛にも及ぶ場合があります。 洗髪はやさしく行い、柔らかいブラシを使用してください。 髪を染める刺激で髪が抜けることがあるのではなるべく避けるようにしてください。 投与を中止することで毛髪は、約半年程度で生えそろういます。 生えてくる毛髪は、色や質が以前と異なることがあります。
吐き気・嘔吐・食欲不振 投与直後から7日目頃 	<ul style="list-style-type: none"> ・投与後すぐに起こる場合 ・投与翌日から1週間ぐらいの間に起こる場合 ・投与前から起こる場合 ・食事のにおいなどで起こる場合 この以外にも変わったことがあった場合は報告してください。 吐き気止めや症状や原因に応じてその他の薬剤を使用します。
下痢 	普段から便通の状態を把握するように心がけてください。 腹痛が続いたり、下痢の回数が多い場合は報告してください。 症状が出現したときは水分補給をこまめに行ってください。 症状に応じて、下痢止めや水分補給のための点滴を使用します。
過敏症 	発疹、発赤、咳、発熱、悪寒、呼吸苦、浮腫など 薬剤や食物などのアレルギーは必ず申し出てください。 少しでもおかしいと感じたときはすぐに申し出てください。 症状出現時は、抗アレルギー剤、ステロイド剤を使用します。 まれに投与後に症状が出現することがあります。
間質性肺炎	かぜの様な症状（息切れ、呼吸がしにくい、咳、発熱など） 症状が現れたり、ひどくなったりした場合は、すみやかに主治医に連絡して医療機関を受診してください。
高血圧 服用開始から6週間ぐらいまで	我慢できないほどの頭痛や吐き気、意識がもうろうとする。 治療として一般的な降圧薬による治療が行われます。 急激な血圧上昇は脳やその他の臓器に障害につながるため、治療期間中は定期的に血圧測定してください。
出血	血便、血痰、鼻血、爪の中の出血 血がなかなか止まらないことや、傷が治るまで時間がいつもよりかかることがあります。このような症状が出現した場合はすぐに報告してください。
嘔声	症状が出現しても自然と改善します。 長期間症状が改善しない場合は申し出てください。







副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
疲労感・倦怠感・発熱	無理をせず、十分な休息とるようにしてください。 肝機能の状態が影響して症状が出現する事があります。 発熱の症状に応じて解熱剤を使います。



▼「検査でわかる症状」



定期的に検査を行い、問題ないことを確認していきます。

副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
白血球・好中球減少 	感染症にかかりやすくなります。感染予防を心がけてください。 ・帰宅時に手洗い、うがいを行う。 ・歯みがきは口の中を傷つけないように気をつける。 ・風邪など感染症にかかっている人に近付かない。 風邪などの症状がある場合は早めに受診するようにしてください。 減少の程度によって、内服薬または注射薬を使用します。   
赤血球減少 	めまい、倦怠感、息切れなど貧血時に見られる症状が出現します。 ・減少の程度によって、内服薬または注射薬を使用します。 ・減少の程度では、輸血することがあります。
血小板減少 	出血しやすくなります。 ・怪我や内出血（打ち身などによる）に注意してください ・覚えのない内出血や血便が見られたときは報告してください ・減少の程度に応じて輸血することがあります
腎機能 肝機能 電解質 などの項目も問題ないか確認していきます	

ここに書いてある以外の副作用が現れるかもしれません。普段と何か違うな、おかしいなと感じたときは医師、薬剤師、看護師に報告してください。

治療を受けているときは、様々な不安や疑問を感じると思います。

そのようなときは主治医、薬剤師または看護師にお気軽に相談してください。

